

アフラトキシン M<sub>1</sub> 及び飼料中のアフラトキシン B<sub>1</sub> の評価書骨子 (案)

・要約

## I. 背景

1. 経緯
2. 現行規制等 (M<sub>1</sub>, B<sub>1</sub>)

II. 評価対象物質の概要 (M<sub>1</sub>, B<sub>1</sub>)

1. 名称、分子式、分子量、構造式
2. 物理化学的性質
3. 産生生物
4. 発見の経緯

## III. 安全性に係わる知見の概要

1. 実験動物等における体内動態
  - ① AFB<sub>1</sub> から AFM<sub>1</sub> 等への代謝と排泄
  - ② AFM<sub>1</sub> の吸収・分布・代謝・排泄
2. 実験動物等における毒性 (M<sub>1</sub>)
  - (1) 急性毒性
  - (2) 慢性毒性・発がん性
  - (3) 遺伝毒性
  - (4) その他
3. ヒトにおける知見 (M<sub>1</sub>)
4. 飼料中のアフラトキシンの食品への移行
  - (1) 飼料中の AFB<sub>1</sub> と畜産物 (肉、卵等) 中のアフラトキシン
  - (2) 飼料中の AFB<sub>1</sub> と乳等中のアフラトキシン
5. 諸外国における評価
6. 暴露状況
  - (1) 汚染実態
    - ① 飼料の汚染実態
    - ② 畜産物の汚染実態
    - ③ 乳等の汚染実態
  - (2) 暴露量の推計
  - (3) 製造・加工等による影響

IV. 食品健康影響評価 (M<sub>1</sub> (飼料中の B<sub>1</sub>))